

令和3年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	9. 教育費	大事業	2. 美術館一般管理費
項	5. 社会教育費	中事業	
目	6. 美術館費	担当所属	美術館

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	5年間計画額	
							令和3年度	令和4年度
経常	単独	通常	0	0	21,586		-	-
							-	-
							-	-
							-	-
							-	-

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	3,142	
本年度当初査定額	2,950	28,031

財源内訳	使用料及び手数料	諸収入					その他	一般財源
本年度当初要求額	0	0					3,142	△3,142
本年度当初査定額	2,679	271					0	25,081

<事業に関する説明>

<p>(事業の概要) 美術館運営協議会の開催のほか、機器保守点検及び施設管理等委託を実施するなど、年間を通じて安定した美術館の運営を継続します。</p>	<p>(事業の目的) 美術館の適正な管理運営により、利用者が美術に親しむことができ、憩いの場となる空間を提供します。</p>	<p>(事業の効果) 施設の機能を維持管理することにより、一般来館者や市民ギャラリー及びホール利用者が安全かつ快適に館内で過ごし、また展覧会などの催しを行うことができます。</p>
<p>(事業実施上の問題点) 施設の老朽化にともない、故障時の対応だけでなく計画的な予防措置が重要です。機器の修繕費が多くなるため、どの段階で交換すべきか予算を考慮した判断が難しくなっています。</p>	<p>(前年度からの見直し点) 市民の発表の場であるギャラリーとしての貸出期間を延長する等、他の事業とあわせて事業内容の見直しを行っています。また、引き続き新型コロナウイルス感染防止対策を行います。</p>	<p>(見直しについての特記事項) 施設の維持管理は利用者の安全のために必要不可欠です。快適な施設空間を提供することにより市民ギャラリー・ホールの利用者だけでなく、来館者及び市民の満足度も向上します。</p>

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
01	4,808	4,808	0
08	548	600	△52
10	18,028	19,308	△1,280
11	666	717	△51
12	3,588	3,756	△168
13	318	322	△4
18	75	75	0

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
	15	01	08	04	01	00	社会教育施設占用使用料	991	931	991	△60
	15	01	08	04	13	00	美術館施設使用料	1,748	1,748	1,484	264
	22	05	04	01	07	00	書籍等売払収入	372	240	372	△132
	22	05	04	01	50	05	コピー機使用料	1	1	1	0
	22	05	04	01	50	19	自動販売機設置電気料	30	30	30	0
差引一般財源								△3,142	25,081	△2,878	27,959